

第16回定点観測が行われました

5月12日（土）13日（日）の2日間、本年度初めての定点観測が行われました。2日合わせて39名の生徒が参加しました。



初日の午前中は県沿岸広域振興局土木部と（株）安藤ハザマ・（株）植木組・伊藤組土建（株）・南建設（株）特定共同企業体大槌作業所のご協力で大槌川水門と小鎗川水門の工事現場を見学しました。



午後から町方 A、B と安渡、赤浜、吉里吉里の5カ所に分かれて定点観測を行いました。



13日は午前中、3班に分かれて町方地区の定点観測を行いました。



午後は6月に開館する文化交流施設「おしゃっち」に展示する復興研究会の活動を紹介する映像の編集について話し合いました。



生徒感想

○12日の水門見学でどのような水門を造ろうとしていて、どのように町を守ろうとしているのかを知ることができました。赤浜地区の定点観測を行うのは初めてでしたが、大槌を高台から見ることができ、復興を感じることができました。13日の町方の定点観測では普段自分が行かないような場所で建物が建っていることを知ることができました。また、おしゃっちへの展示物を自分たちで考えることを通じて、復興への取り組みについての理解を深められたので良かったです。(2年女子)

○私は今回の定点観測が初の参加で、分からない事があったけれど、班で協力してできて良かったです。普段何気なく通っている道を震災後に撮影した写真と比べてみると復興している様子が分かって感動しました。写真として残すことで復興の様子を分かりやすく伝えることができ、そこから見えてくることもあるので、今回参加して本当に良かったと思いました。(2年男子)

○今回の定点観測は2日間参加しました。1日目は水門の見学へ行き、水門と防潮堤がどんな役割をするかなど、今後の防災に関する様々なお話を聞くことができとても勉強になりました。水門を間近に見て、その大きさにとても驚きました。2日目は、午後のおしゃっちへの展示方法についての話し合いに参加しました。動画などをこれから作るようになったので楽しみです。(3年女子)

○今回の定点観測では普段は見ることのできない水門の見学ができました。水門はとても大きく、また見学してみたいと思いました。前回参加したときより、家が建っていた所や建設中の所などがありました。特に「おしゃっち」の公園が完成し、復興が近づいていると感じました。次回の定点観測では家が増えているかとても楽しみです。(3年男子)